

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を、サービスの質の確保・向上に活かす取り組み。	地域の幅広い分野からの出席で、多くの方にかかわって頂き、理解や支援を得ることでホームのより良い運営につなげる。	運営推進会議のメンバーを増員する。全家族に参加を呼び掛け、意見交換の機会を持つ。また、参加できなかった家族には内容を報告、情報を共有する。地域の集まりなどで活動について話し、日頃から職員や利用者の、よき理解者になってもらう。	6ヶ月
2	10	災害時、地域との協力体制を築く取り組み。	地域との連携を図りながら、災害対策に関する理解を求め、協力体制を築くことで、よりスムーズに避難出来る。	ホームで開催する避難訓練に地域の方々への参加、協力の呼びかけを行う。地域の消防団に参加して頂き、ホームの現状を知って頂く。	6ヶ月
3	35	意見・苦情・不満をホームの運営に活かす取り組み。	出された意見・願いなどを前向きに受け止め、苦情記録を活用し、ホームの運営に活かす。	より多くの意見や要望を出してもらえよう、利用者、家族の立場に立った問いかけを行う。利用者の日常的な会話で得た情報も取り上げ、相談・苦情を記録に残し、利用者の為になにができるかを話し合い、情報を共有する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。